



OLITI	ANDED	DHEV	主車員	ᆂᆕᆂ

型式 DLA-GG2			GG2W		
駆動方式	4WD				
**************************************	G			M	
類別	Premium Package	Navi Package	Safety Package	IVI	
全長 / 全幅 / 全高(mm)	4,695×1,800×1,710				
ホイールベース(mm)	2,670				
トレッド 前 / 後(mm)	1,540/1,540				
最低地上高(mm)	190				
室内寸法 (長 / 幅 / 高 mm)	1,900×1,495×1,235				
車両重量(kg)	1,880	1,850	1,840	1,820	
乗車定員(名)	5				
最小回転半径(m)	5.3				
JC08モード燃費(km/ℓ)ハイブリッド燃料消費率	20.0	20.2			
充電電力使用時走行距離 (ブラグインレンジ、国土交通省審査値)(km)	60.2	60.8			
モーター形式 前/後	S61/Y61				
定格出力 前/後 (kW)	25/25				
最高出力 <ネット> 前/後 (kW <ps>)</ps>	60<82>/60<82>				
最大トルク <ネット> 前/後 (N·m <kgf·m>)</kgf·m>	137<14.0>/195<19.9>				
駆動用バッテリー 種類 / 総電圧(V) / 総電力量(kWh)	リチウムイオン電池 /300/12				
エンジン型式	4B11 MIVEC				
エンジン総排気量(2)	1.998				
最高出力 <ネット>(kW <ps>/rpm)</ps>	87<118>/4,500				
たトルク <ネット> (N·m <kgf·m>/rpm) 186&lt;19.0&gt;/4,500</kgf·m>					
使用燃料 / タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン・45				
ステアリング	ラック&ビニオン(電動パワーステアリング)				
サスペンション 前/後	マクファーソンストラット式 / マルチリンク式				
ブレーキ 前/後	ベンチレーテッドディスク / ディスク				
タイヤ	225/55R18 98H		215/70R16 100H		
※主要諸元表はメーカーの発表資料を基に作成しております。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。詳しくは販売店にお問い合わせください					

## 災害時の電力供給にも活躍

アウトランダー PHEV は、いろいろな意味でレジャーに適したク ルマだ。まずはミドルサイズの SUV であることが挙げられる。前 後席ともに頭上や足元の空間が広く、今回のモデルチェンジでは、 座面の柔軟性も改善した。これだけの居住性を備えていれば、ファ ミリーで快適な長距離ドライブを楽しめる。そして車内の後部には 広い荷室があり、遊びのグッズもタップリと積める。駆動方式は、 後輪にモーターを備えた 4WD のみ。駆動力の伝達効率をさらに 高めるロックモードも設けた。優れた走破力は、レジャーで悪路 に乗り入れた時の安心感を高めてくれる。そして先に述べたように 100V/1500W の電力供給が可能だから、さまざまな電気機器が使 える。しかもアウトランダー PHEV のリチウムイオン電池は容量が 大きいから、一般的なハイブリッド車の電源機能と違って、エンジ ンを始動させずに電力の供給を続けられる。レジャーに出かけた時 でも安心だ。アウトランダー PHEV は環境性能に優れたプラグイン ハイブリッド電気自動車だが、一般的なハイブリッドや電気自動車 に比べると、幅広い機能を高い次元で両立させている。





荷室空間を確保

アンダーラゲッジルーム



#### エクステリアデザイン

今回のモデルチェンジでは、外観のイメージを大きく変えた。デザインコンセプトは、歴代パジェロに継承されたイメージを進化させる「Dynamic Shield/ダイナミックシールド」。LED ヘッドライトとLED ポジションランプは切れ長にデザインされ、バンパーは両側から中央に向けて包み込む形状とした。以前に比べると、走りの良さを明確に表現したシャープな印象に仕上げている。そしてアウトランダーPHEVは、専用形状としたバンパーエクステンション(バンパー下側のパーツ)、ボディサイドの下側に装着されたガーニッシュもボディ同色にすることで、スポーティな雰囲気を強めた。ボディカラーは7色を用意している。18インチアルミホイールは、2トーンの切削光輝タイプとした。ガソリンエンジンを搭載したアウトランダーも、PHEVと同様にヘッドライト周辺をスポーティなデザインに改めた。前後バンパーの下側などはブラックにすることで、SUVらしい力強さを表現している。



「Dynamic Shield」に基づいたデザインを採用

#### 操縦安定性・乗り心地



ボディとサスペンションにも改善を施した。注目されるのは足まわり関連だ。まずはサスペンションに加わった力を受け止めるボディを補強して、剛性を向上させた。これにより走行安定性を高めている。 さらにサスペンションを取り付ける部分の剛性も高め、ボディに対する力の加わり

方を最適化することで、操舵感、および操舵に対する車両の動きも正確にした。後輪側のショックアブソーバーは、シリンダーのサイズを大径化している。以上のような改善を加えたことで、通常の走行でもハンドル操作に対してクルマが正確に向きを変える。このため、従来以上に運転がしやすく、気持ち良く走らせられるようになった。そしてコーナリングや車線変更、危険を避ける時の安定性も高めている。またサスペンションが正確に働くため、ショックアブソーバーの大径化と相まって、乗り心地も重厚になった。

#### 静粛性

ドライブを快適にする静粛性は、従来以上に向上した。吸音材、遮音材、制振材、さらに振動を制御するダイナミックダンパーなど、30点以上の改良を施している。これによってエンジン音、タイヤが路面の上を転がる時に発生するロードノイズ、風切り音、停車中に車外から伝わる騒音まで低減させた。これらの相乗効果により、走行中、停車中ともに車内がさらに静かになっている。またドアシールの構造も改良したから、ドアを閉めた時の音や手応えも上質な印象だ。日常的な移動から長距離ドライブまで、さまざまなシーンで質感の高さを満喫できる。



18インチアルミホイール

#### インテリア

内装のグレードアップにも注目したい。すべてのグレードにわたって、内装やシートの素材、デザインなどに変更を加えた。アウトランダー PHEV は、上質なプレミアム感覚を重視してデザインされている。インパネではメーターフードにステッチを加え、センターコンソールボックスは「漆箱」をモチーフに造り込んだ。ステアリングホイールは新しいデザインの4本スポークで、グリップ感覚の優れたスムーズレザーで仕上げている。シートは表皮を変更。グレードに応じて上質なブラウンの本革内装も選べるようにした。ガソリンエンジンを搭載したアウトランダーは、落ち着いた雰囲気のスポーティなデザインとした。ファブリックのシート生地を変更して、PHEVと同様、メーターフードの上側にはステッチを配している。



ステッチでアクセントを表現



上質でラグジュアリーな空間を演出、プレミアム感のあるインテリアを実現

#### 環境性能

アウトランダーがモデルチェンジを行った注目点として、環境性能の向上も挙げておきたい。アウトランダーPHEV については、電気自動車としての EV 制御を最適化して、エンジンの摩擦抵抗も軽減。ハイブリッド走行時の JC08 モード燃費は、従来の 18.6km/&から 1.6km/&向上して、変更後は 20.2km/&に、また駆動用リチウムイオン電池に充電して走れる電気自動車としての航続可能距離は、モーターの効率向上により、0.6km 伸びて 60.8km に達している(一部グレードを除く)。一方、ガソリンエンジンも燃費を向上。 2 &エンジンを搭載する 2WD モデルは、JC08 モード燃

費が 0.8km/ ℓ 改善されて 16km/ ℓ。2.4 ℓエンジンを搭載する 4WD モデルは、 0.2km/ ℓ 向上して 14.6km/ ℓになった。



#### |発進&加速性能と誤発進抑制機能

動力性能については、アウトランダー PHEV、ガソリンエンジン搭載車ともに改善を加えている。まずはアウトランダー PHEV だが、ハイブリッドやモーターの制御を見直して、市街地における加速性能、アクセル操作に対する反応の仕方などを向上させた。またペダルの踏み間違いなどで誤って発進した場合、進行方向に車両や障害物があると、動力性能を抑えて衝突被害を軽減させる誤発進抑制機能(前進&後退時)も採用。この機能は M グレード以外の全車にメーカーオプションとして設定している。ガソリンエンジンを搭載したアウトランダーは、新世代の CVT(無段変速 AT)を採用。

エンジンと併せて制御を最適化することにより、発進時から追い越しまで、幅広い走行状況における加速性能を高めた。



前方の障害物を認

### マルチアラウンドモニターなど

今回のモデルチェンジでは、取りまわし性や快適性を 高める各種の装備も充実させた。アウトランダー PHEV の場合、取りまわし性を向上する機能として、マルチア ラウンドモニターを M を除く全車に標準装着している。 車両を上空から見たような映像としてモニター画面に表 示するため、車庫入れなどが行いやすく安全性も向上す る。また 100V/1500W の電力を供給できる電源は、G プレミアムパッケージに標準装着、そのほかのグレード にはメーカーオプションとして用意した。1500W を確 保すれば電子レンジなども使えるから、キャンプなどの ほかに、災害時にも活用できる。このほか、運転席の

電動調節機能をアウトランダー PHEV の全車に標準装着。ステアリングホイールのヒーターも M を除く全車に標準装着されている。



シャークフィンアンテナ

# PHEVの魅力

バンパー下部のスキットプレート形状により、人とクルマを守る機能を表現

ウトランダー PHEV は、充電の可能なプラグ インハイブリッド車の中では、先進的な機能 を備えている。そのためにプラグインハイブリッド 車に占めるアウトランダー PHEV のシェアは、国内 では64%、世界的に見ても40%に達する。特徴と して、まずはリチウムイオン電池の容量が大きい 12kWhを確保するから、エンジンを搭載しない本 格的な電気自動車の約半分に相当する。そのため にモーター駆動の航続可能距離が長く、モデルチ ェンジの後は、前述のとおりJC08モード走行で 60.8km (G プレミアムパッケージは 60.2km) とな った。充電された電気で長距離の走行が可能なら エンジン駆動の距離は短く抑えられ、総合的な燃 費が向上する。そしてプラグインハイブリッド車で は、唯一急速充電器が使えることも魅力だ。外出 先のサービスエリア、ショッピングセンターなどの急 速充電器を使えば、短時間で充電できるため、電 気自動車として走る距離を手軽に伸ばせる。日本 では総世帯数の約40%(都市部では約70%)がマ ンションなどの集合住宅に住む。自宅には充電設 備を設置しにくく、純粋な電気自動車の所有は難し い。その点、アウトランダー PHEV は、ハイブリッ ド車と電気自動車の機能を併せ持つ。使うシーン に応じて、エンジンを駆動させたり、外部充電(普通・ 急速) だけでなく、エンジンが発電し走行できる。

